

第 6 回北広島市立小学校及び中学校通学区域審議会	
日 時	平成 1 8 年 6 月 8 日 (木)
場 所	石狩教育研修センター 研修室 A
内 容	<p>内 容</p> <p>小学校の適正配置について</p> <p>1) 適正配置の考え方について</p> <p>2) 適正配置の具体策について</p>
	概 要
	<p>事務局より適正配置を検討する際に留意しなければならない点について説明</p> <p>適正配置を審議する前提として、北広島団地内に限定し、現在の通学区域内の分離は行わない、学校選択制は議論に含めないとした。</p> <p>適正配置の具体例について資料に沿って事務局より説明</p> <p style="text-align: center;">= 提出された主な意見・質問 =</p> <p>北広島団地内で民間の企業等が新たに造成して、新たなまち並みを造るといような話は今のところ無い。ただ、松葉町の 6 丁目の高層住宅については計画全体が完成しているわけではなく、社会情勢の変化によっては建設するといようなこともあり、人口が増える要素はあると思う。</p> <p>北広島市はゆるやかに人口が増えているが、北広島団地について言えば平成 6 年の 2 万人弱をピークに落ち込んできており、一戸建てに住んでいた方が高齢化して駅前のマンションなどに移り住むようになっている。都市計画としては、若い人達が住み替えできるような方策を考えて行かなければならないと思っており、そういうような観点から人口が増える可能性はあると思う。</p> <p>北広島団地には高低差がある。元々の地形を生かしてるといことだろうが、道路自体が曲がりくねっている。中央通は交通量が多いが、危険性という部分では緑陽通の方がカーブも多く高いように思う。</p> <p>児童数の推計は 2 4 年度までになっているがその根拠は。 (住民基本台帳による)</p>

<p>内 容</p>	<p>北広島団地内の小学校が4校というのは最初からの計画か。 （当初計画どおりと聞いている）</p> <p>中央通はかなり交通量が多く保護者が子供の安全・安心ということに意識が高い。統合を考えた場合、中央通を横断するという考えもあると思う。</p> <p>北広島団地の中には歩行者専用のいわゆる散策路的な道路が確保されていて、完全に車道と分離された状況で人の動きがとれるようになっている。もし、大きな通りを横断するというのであれば、その通路が通学路的な部分でかなり重要な意味を持つのではないか。</p> <p>例えば、4校統合してどこか別な所に学校を建てるということは考えなくてよいのか。広葉小学校と若葉小学校はかなり古く、耐震改修もされていない。今後、もしこの学校を残すとしたら耐震改修が必要となり費用もかかる。現状の4校のどこかにということ的前提を考えるのか。</p> <p>新しく学校を建設するという考えは、現実的ではないというか、新たに北広島団地で確保するとなると、例えば松葉町4丁目あたりが位置的に良いが、移転補償費等を考えた場合、かなり難しいと思う。</p> <p>小規模校を解消し、最低12学級を維持するということが。4校を統合すれば24学級になり、校舎の問題が出てくる。例えば、増築したら可能かもしれないが、現実的ではないと思う。そうすると、組み合わせはある程度しぼられてくると思う。</p> <p>具体的な統合に関する審議は次回以降とし、次回は現地調査することとした。</p>
<p>出席者</p>	<p>審議委員　：　松本会長、大滝副会長、小林委員、五十嵐委員、木戸委員、宮森委員、櫻井委員、樟山委員、高山委員、千葉委員、児玉委員</p> <p>事務局　　：　教育委員会 管理部長 小菅 敏博 教育施策推進担当参事 工藤 正 " 主査 加賀谷 博司</p>
<p>傍聴人</p>	<p>6 名（うち報道機関 2名）</p>